

## ところ会 9 月行事案内

平成 27 年度 第 9 回テーマ：

**彼岸花の巾着田と高麗方面を歩く(行程:約 7km)**

**(巾着田、高麗郷民俗資料館、聖天院勝楽寺、高麗神社)**

彼岸花で有名な巾着田と、渡来した高麗人が住んだ高麗郡とその中心の高麗神社に行きます。

記

■日 時：平成 27 年 9 月 25 日 (金) 9 時 15 分集合

■集合場所：西武秩父線高麗駅 改札 10:15

次の電車に乗って下さい (6 両目あたり)

新所沢 9:23—所沢 9:30—西所沢 9:34—小手指 9:40—狭山ヶ丘 9:42  
下山口 9:20

—飯能で乗換え 10:02—高麗 10:08

所沢 9:35 発の快速で小手指  
乗換でも同じです。

■見学場所及び時間

高麗駅(10:02)⇒高麗石器時代住居跡⇒巾着田⇒昼食⇒  
高麗郷民俗資料館⇒聖天山勝楽寺⇒高麗神社⇒高麗川駅  
帰路：JR 八高線高麗川駅⇒東飯能⇒飯能⇒所沢駅

■拝観料：巾着田曼珠沙華公園 300 円、聖天院勝楽寺 300 円

■交通費：約 760 円 (所沢からの往復)

■昼食場所：お弁当を持参下さい (現地購入は難しい)

■散策先簡単ガイド

### <高麗石器時代住居跡> 国指定重要文化財

1929(昭和 4)年に発掘された、縄文時代中期の建造物跡とされる遺跡。直径約 6 メートルの竪穴式住居跡が 2 軒あり、どちらも円形に柱の跡とされる穴が発見され、また一部分修復されていることから、違う時代に建てられたものと



推定されています。住居跡からは、縄文土器をはじめ、耳飾り、石斧など、数多くの考古学上の重大かつ貴重な発見がなされました。

### ＜台の高札場跡＞

江戸時代に幕府が定めた法度（はっと）や覚書などを書き記した板札を、村の中心や主要な街道が交錯する交差点といった人通り多く、目に触れやすい場所に掲示しました。板札は人々を見下ろすように高く掲げられています。この掲示施設を高札場といいます。



高札には「キリスト教は禁止されているが、信仰する者を届出た者には褒美を上げよう。しかし、隠したりした場合は、名主、五人組にも罰を与える。」と切支丹禁制に関わる内容が記されています。この高札場は、昭和60年に復元したものです。

### ＜宿老庵貫齋翁筆塚＞

この筆塚は宿老庵貫齋翁を称えて弟子たちが建立したもので、碑文「筆塚」は勝海舟、碑の扁額「宿老庵貫齋翁」は七卿落ちの一人として有名な東久世通禧の筆です。

### ＜巾着田＞

高麗川が蛇行して形成された自然の地形、巾着のような形をしていることが名前の由来です。花の名所としても有名で、秋は林間に100万本の曼珠沙華(見頃:9月中旬-下旬)、花畑にはコスモス(10月上旬-中旬)が咲き競い、春には菜の花(3月下旬-4月上旬)があたりを鮮やかに彩ります。巾着田近辺の高麗川の流は緩やかで、釣りや水遊びに最適。木陰で涼しさを満喫することもでき、ときには、カワセミやアオゲラなどの姿も楽しめます。

巾着田曼珠沙華公園：(入場料 300 円) 状況により入場します

＜昼食＞ 巾着田周辺でお弁当です。

お弁当を持参下さい、現地のコンビニは買えない可能性があるので乗車前に準備して下さい。

### ＜高麗郷民俗資料館＞

民俗資料館には、市内で長い間人々に使われていた農業と林業そして漁労に関する民俗資料を展示しています。日高に生きた先人の歩んできた生活をご覧ください。(開館日は季節により変わります)

## ＜高麗山聖天院勝楽寺＞ 拝観料：300円

高麗神社と勝楽寺は、高句麗国の王族**高麗王若光**に関連する社である。高句麗人は中国大陸の松花江流域に住んだ騎馬民族で、朝鮮半島に進出して中国大陸東北部から朝鮮半島の北部を領有し、約700年君臨していた。その後、唐と新羅の連合軍の攻撃にあい668年に滅亡した。この時の乱を遁れた高句麗国の貴族や僧侶などが多数日本に渡り、主に東国に住んだが**霊龜2年(716)**そのうちの**1799人が武蔵国に移され、新しく高麗郡が設置された。(来年が建郡1300年になります。)**

**高麗王若光**(こまのこきしじゃっこう：王は朝廷から与えられた姓でこきしという。古代朝鮮語の王「こんきし」から)は高麗郡の郡司に任命され、武蔵野の開発に尽くし民生を安定し大いに治績を治めました。

勝楽寺は若光が亡くなったあと、**侍念僧勝楽**が若光の守護仏聖天像(歓喜天)を本尊とし、若光菩提寺として751年(天平勝宝3年)に建立しました。

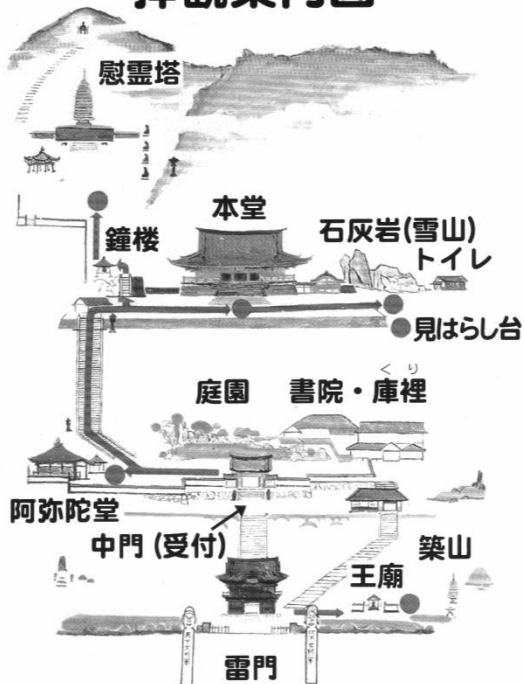
その後、法相宗から真言宗に改め、本尊を不動明王にし、当代までに実に1,250年間絶えることなく継承されています。2000年(平成12年)には、山腹に新本堂を建立し、同時期に在日韓民族無縁仏慰霊塔を建立されました。

**雷門**：浅草寺の雷門と同様に右に**風神**、左に**雷神**が配されています。



**中門**を抜けると立派な庭園があり、長い階段を登ると石造りの仁王像があり、右手には入母屋造瓦葺き総檜造りの**新本堂**が聳えます。本堂前の見晴台からの眺望は絶景です。

## 拝観案内図



**慰霊塔**：本堂の左奥に行くと、在日韓民族の慰霊塔があります。

慰霊塔の右崖には、高句麗民族統一の祖「**広開土大王**」、新羅による朝鮮半島統一の基礎を固めた「**太宗武烈王**」、百済から日本に渡来し**漢字**と**儒教**を伝えたとされる「**王仁博士**」、高麗末期の著名な学者であり政治家であった「**鄭夢周**」李朝時代の良妻賢母の鑑「**申師任堂**」等の石像が並んでいます。



慰霊塔左手には抗日独立運動の象徴「**八角亭**」が建ち、その奥には韓国朝鮮の始祖神「**檀君像**」が安置されています。そこには在日白衣服民族の聖地と書かれた説明板があります。

**白衣服民族**：朝鮮では伝統的に、一般庶民が日常生活で着る服は白一色であり、宮中など特権階級を除いて、色物や柄物の衣服はほとんどなかった。そのため朝鮮民族は白衣服民族と言われた。

ここで、**狭山湖の湖底に沈んだ所沢の勝楽寺**を見てみましょう。同じ勝楽寺という名前です。

山口の仏蔵院の縁起によれば、高麗郡が出来た**霊龜 2 年 (716)**に朝鮮半島から渡来した**王辰爾一族<sup>※1</sup>**の人々が**勝楽寺聖天院**を建立した時にはじまります。そして、弘仁(810～824 年)の頃、**辰爾山仏蔵院**として再興され天喜、治暦 (1053～1069 年) の世には**武蔵野一の霊場**となり、**一時は十二院十二坊を数え寺社共に繁栄**しました。しかし、文永三 (1266) 年、寺社は焼失され廃墟となってしまいました。その後、徳川時代の元和 7 (1621) 年に再興され山頂に七社神社、境内には阿弥陀堂・薬師堂・地藏堂が残され、大坊の池には日限地藏・歓喜天・弁財天がまつられ往昔のなごりをとどめていましたが明治維新により寺社は分離され、大正、昭和の時代に至って東京の水源地・狭山湖築造のため寺社は昭和 4 年に勝楽寺大坊を離れ神社は山口の中氷川神社に合祀され、寺院は現在地に伽藍を写し今日に及んでいます。

**※ 1**：**王辰爾** (しんに、しんじ、じんち仁智) は**百済系の渡来人**で、日本書紀では 553 年に蘇我稲目の下で王辰爾が船の賦を数え録し、その功で船長となり船氏の氏姓を与えられたとします。



所沢郷土美術館館長の平塚宗臣氏の講演では“勝楽寺村には高句麗から来た人々が住み、715年に勝楽寺が出来た。この勝楽寺を作った勝楽という僧が高麗に行き聖天院勝楽寺を作った。”とされており、仏蔵院の石碑の縁起とは異なっています。

## <高麗神社>……社殿工事中

高麗神社は、高句麗国の王族**高麗王若光**を祀る社です。

郡民はその遺徳をしのび、霊を祀って高麗明神とあがめ、以来現在に至るまで高麗王若光の直系によって社が護られており、梅や桜の名所としても有名です。

現在の日高市は、高麗郡の中心をなした地域と考えられます。高麗郡は明治29年(1896年)入間郡に合併されましたが、当社はその後も広く崇敬を受けてまいりました。特に浜口雄幸、若槻禮次郎、斉藤実、小磯国昭、幣原喜重郎、鳩山一郎らが当社参拝後相次いで総理大臣となったことから「出世明神」と広く知られるようになりました。現在は年間約40万人の参拝があります。



高麗神社境内俯瞰図

※数字をクリックすると各案内に移動します



①一ノ鳥居 ②二ノ鳥居

③芳名板 ④参道

⑤御神門 ⑥祓所 ⑦御社殿・御本殿

⑧参集殿 ⑨神楽殿 ⑩御神木 ⑪高麗家住宅 ⑫車祓所 ⑬⑭第一駐車場

## 【高麗家住宅】国指定重要文化財

高麗家は高麗神社の神職を代々務めてきた旧家で、住宅は境内の隣接地にあります。建築年代は、慶長年間（1596～1615）と伝えられています。

### ＜四本木の板石塔婆＞……状況により行きましょう

板石塔婆は板碑とも呼ばれ、武蔵国では秩父で採れる緑泥片岩を用いています。鎌倉時代から戦国時代に至る400年間に、追善(死後に供養すること)や逆修(ぎやくしゅう)(生前にあらかじめ供養をすませること)などを目的に造立されました。四本木の板石塔婆は主尊(しゅそん)に阿弥陀如来の種子(しゅじ)が刻まれ、正和3年(1314年)銘がみられます。高さ266cm 幅67cm で市内最大です。



ちなみに、日本最大の板碑は長瀨町野上にあつて、高さ537cmです。

### ＜帰路＞

高麗川駅から八高線経由帰ります。

高麗川 15:30－15:36	東飯能 15:56－15:58	飯能 16:06－16:29	所沢
15:00－			－15:59 所沢
16:04－			－17:03 所沢